

そらのとり

岩見沢聖十字幼稚園だよりNo. 5

2021年8月31日発行



8月の聖句『平和を実現する人々は幸いである。

その人たちは神の子と呼ばれる。』(新約聖書 マタイによる福音書5章9節)

第二次世界大戦下、東京・上野動物園のゾウやライオンなど14種27頭が薬殺や餓死により「殺処分」されました。

戦争のさなか、空襲等によって檻が破壊され、猛獣が逃げ出すことを懸念しての軍部からの命令によるものでした。

上野動物園には、戦争で犠牲になった動物たちの弔いの碑があります。その前に立ったとき、わたしは、とても辛い気持ちになりました。

ことばを語りえない動物たち、その死と沈黙から、いのちの尊さを、平和の大切さを深く考えるのでした。



(チャプレン いけたとおる)

ムシにムチュウ!

年々園庭の草花や木が育ち虫も来るようになってきました。今は茶色や赤色のバッタやトンボが来てますが、なぜかみんな小さな地味な虫が大好き!



虫あみかい大きく見えます。



大きの子たちはずと夢中。虫の名前もとても詳しくしってます。虫は子どもの身近な友だちなんです。見てるとなんだかホッとします。



きょうだいで、アイアイ。アリだよ。

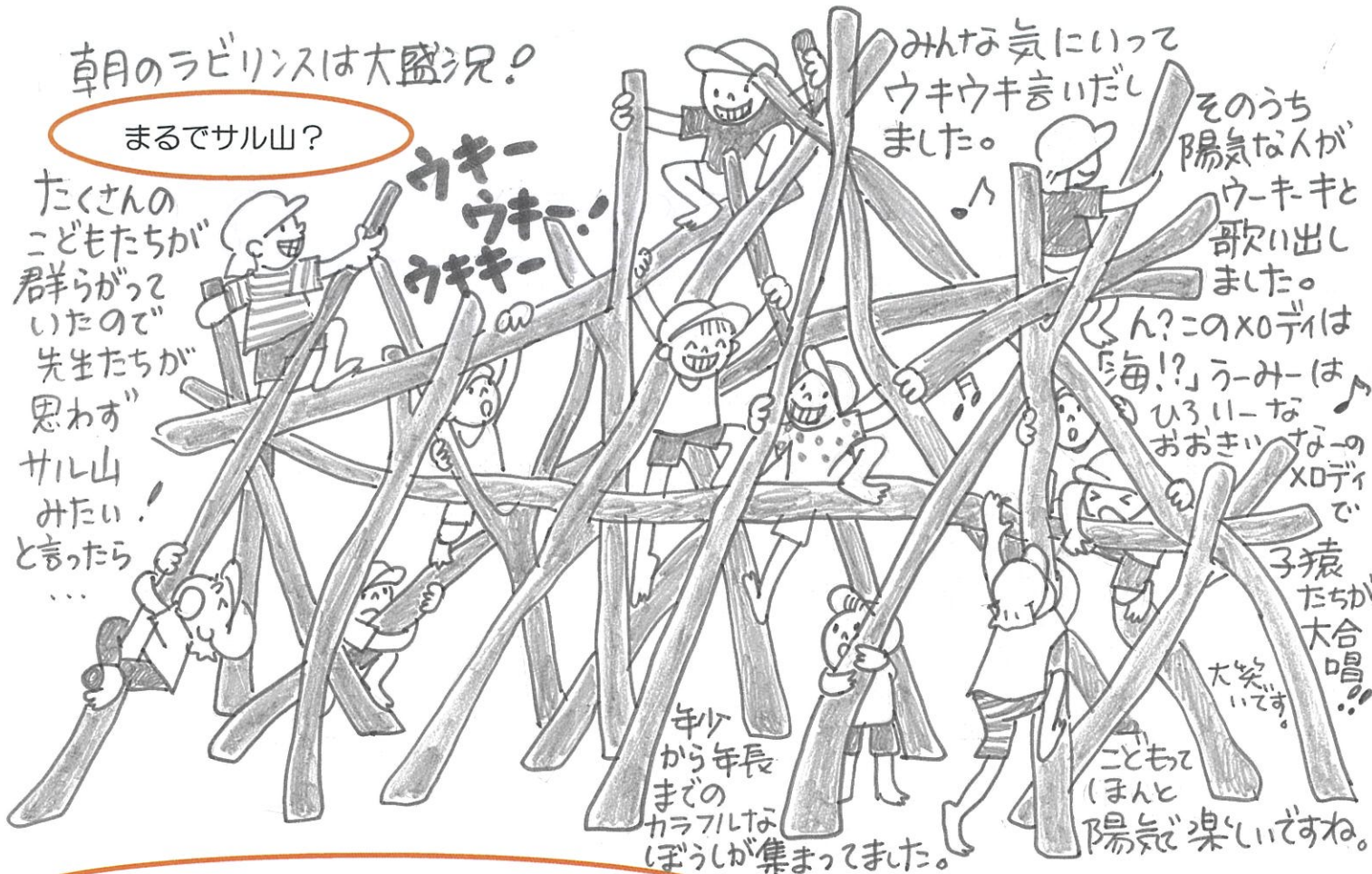


カフェの下がなくてワラジとテントのあそび場だよ!

草月のラビリンスは大盛況!

まるでサル山?

たくさんの子どもたちが群らぐっていたので先生たちが思わず「サル山みたい!」と言ったら...



みんな気にいってウキウキ言いました。そのうち陽気な人がウキウキと歌い出しました。くん?このXOディは「海!」うーみーはひろーなのおおきいすみのXOディで子猿たちが大合唱! 大笑い! 年少から年長までのカラフルなぼうしが集まってました。こもこも(ほんとは)陽気楽しいですね。

身体も心もみるみる成長しています



夏休みが終わり年長さんがみんなぐっと体が大きくなり、背筋や頬がシャキツとしています。小さい子が出しっぱなしにしたおもちゃを片づけてくれたり、汚れはおへややテーブルをほうきできれいにしてくれる姿を見ているのが嬉しうにやっているのがまたいいです。小さい子がブルーベリーを洗って渡してくる子、黒板に絵を描いてよるはせてくれる子、汗だくで車を押し上げる子... こんなにいい子たちを産み育てて下さる私たちに会わせて下さり本当に嬉しい日々です。

実体験を減らしたくない

花火大会も盆踊りもお祭りもない夏が今年も終わろうとしています。「季節感がなくて変な感じ」と大人は思いますが、それは大人の私たちが幼児期にお祭りの風景や花火の火薬のにおい、盆踊りの太鼓の音などを全身で感じて育ったからに他なりません。バラエティ溢れる実体験が激減した今を生きる幼児たちは、故郷の夏をどんなふうに記憶するのでしょうか? YouTube の記憶が私たちの何百倍も多いとしたら、親子でも全く違う体験の積み重ねで脳が作られていくのでしょうか。幼稚園に来ている間だけは、ささやかでも、夏は夏らしい実体験を減らしたくない! カいっばい汗だくで夏を遊びきってほしいと思います。